

第五回物療校友会卒後教育部放射線部会

平成25年2月9日（土）

場所物療大学第3号館4階教室

合計参加者数：18名

《プログラム》

「¹⁸F-FDG PET/CT～心臓サルコイドーシス～」

和歌山南放射線科クリニック 大谷 一弘 先生

「懐かしい？心臓核医学」

近畿大学医学部附属病院 井上 亮 先生

「私が技師として出来ること」

奈良県立奈良病院 井森 優紀 先生

「Volume and dosimetric changes and initial clinical experience of
a Two-step adaptive intensity modulated radiation therapy(IMRT) scheme
for head and neck cancer」

近畿大学医学部附属病院 西 環 先生

「グループ研究中間報告発表」

姫路医療センター 喜田 真一郎 先生



本年度最後の卒後教育部勉強会ですが、大学の学生も初めて参加していただく事ができた回であり、内容としては学生向けのものが少なかったというのが反省点ではありますが毎年、少しずつではありますが発表していただけるモダリティーも増え、後輩の子達に楽しんでもらえる会になっていると感じています。今年の反省点を来年度、そして次の次年度に生かし、この会をもっと盛り上げていきたいと考えています。

平成24年度卒後教育・学術部 放射線部会 活動総括

この卒後教育部の目標としては、発表の練習、数分間の発表内容から本質を組みとり疑問を持ち発言する力を身につける事を目標としています。そして、何より物療を単立ち医療という現場に入ったばかりの技師に「勇気」や「やる気」を与えることのできる会であり「慣れない業務での不安」や「いら立ち」を和らげてくれる会でもあると私は考えています。皆さんが参加し、試行錯誤し行動する事が卒子教育部の発展にもつります。あなたの参加を心より歓迎し、お待ちしております。

(文責 大谷一弘)